

## 【指定就労継続支援 A 型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	就労継続支援A型ライフエールおやま		代表者氏名	法人代表江部達也・施設代表平井真次		
事業所所在地	栃木県小山市中央町3-7-1 ロブレビル6階					
連絡先	電話番号	03-6682-6905 (小山)		FAX番号	0285-49-2581	
職員数	11	定員	20	利用者数	12 (うち身体 1 知的 9 精神 2 その他 1)	
事業所の設置主体	社会福祉法人 ・ 民間企業 ・ NPO法人 ・ その他			設立年月日	R4. 10. 1	
改善計画期間	令和6年10月1日 ~ 令和7年9月30日 (1年間とすること)					

(改善計画期間は、貴法人の会計年度の始期から終期までとすること。)

1 現在、指定基準第192条第2項を満たすことができていない理由と具体的改善策  
(詳細かつ具体的に記載すること)

## 未達成理由

平均生産による外貨は月間110万~150万=年間1,300万~ JR小山駅西口、ロブレビル6階を軸に就労継続支援A型事業を実施しており、施設外就労先に小山市延島地区に閉校小学校でっ食品製造の六次化産業及び、近隣で農作業など農業生産法人からの業務を委託させてもらい取り組んでおります。  
当初より、ロブレビル6階での作業が減り、施設外就労先業務が多くなってきております。  
軽作業が中心ですが、食品加工や農作業など、生産性が追い付いておらず、収益として回収出来ていない状況が続いている事から 少しずつ業務の習熟を高め、生産性を上げる事で、収益を回復させたいと思います。

## 具体的改善策

- ≪例≫
- 【改善にむけての数値目標】
- ・売上高(収益) 月間1,100,000円を、習熟により生産性を高め、月間2,000,000円=年間24,000,000円を目指し安定した事業所運営を構築して行きたいと思っております。
- 【改善に向けての基本方針】
- ・高付加価値のある生産品を安定生産させる。
  - ・生産に拘らず、利用者の得意領域を活かし、PC業務なども手掛ける様にする。
  - ・就労支援A型として、一般就労を目指せる様に利用者へ接し、生産性を意識させ就労環境全体の意識向上を進める。
- 【具体的な方針】
- (1) 売上高改善について
- ①生産品目現状最高額【干し芋】【琥珀糖】など高単価な食材を生産出来るが稼働時期が少ない為、一定の生産を年間通じて生産出荷出来る体制を構築する。その事で利用者の生産熟練度も向上出来るものと考えます。
  - ②PC業務などを避けて、軽作業に特化して来ましたが、事務計業務が出来る利用者にはその業務領域でも活躍出来る業務を確保し幅の広い利用者の生産性向上の仕組みを構築します。
  - ③支援事業所として歴史も浅い為、職場環境に置いては利用者同士による人間関係のトラブルなども多く、業務に集中出来ない環境になるケースも散見される為、環境造りにも注力し、業務の質向上を目指して行きます。
- (2) 経費削減について
- <施設外就労>
- ①施設外就労による、食品加工、農業生産などが中心に業務を確保していますが、経費も掛かる為、オフィスワークでの生産性のある業務を確保し、経費を抑える取り組みを進めて行きます。
- (3) 組織マネジメントについて
- ①従業員(利用者)の一人一人の障害特性に配慮しつつ、仕事に対する意識を高め、経営改善に向けての意識の共有を図る。

## 2 現在の事業内容及び計画期間を通じて実施する事業内容

## 現在の事業内容

## &lt;最近の概況&gt;

## (1) 売上高について

設立後、常に昨対を超える状況では御座いましたが、昨年度後半より昨対維持で推移している傾向。仕事の依頼は多くある中で利用者の生産性向上次第で外貨を得る事が出来る為、安定した出勤、メンタル含め、生産性を高められる様に取り組んで行

きます。

(2) 利益について

施設外就労が中心になりつつある為、送迎などの移動経費、及び消耗品の値上がりなど経費が嵩む傾向にあります。

計画期間を通じて実施する事業内容

農業委託業務、BPO業務、軽作業＝主に3種の業務を中心に活動。特に農業委託業務は六次化加工及び農作業であり、業務依頼が多くある中で、処理しきれっていない状況。利用者の特性含め、生産性を上げる事で今以上の成果を得て進めて行く。その為にも日々安定して利用者が出勤出来る環境作り含め体制構築に注力して行く。

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性(どのような資格、経験等を持った者が担当するか等)について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び計画期間を通じて達成する事業収入目標額(1年間の額を記載)

現在の収入額		計画期間を通じて達成すべき目標収入額	
14,325,180 円		20,000,000 円	
(費目)	(費目の収入額の内訳)	(費目)	(積算根拠)
農業委託業務	12,000,000	農業委託業務	15,000,000
BPO業務	1,025,180	BPO業務	2,500,000
軽作業	1,300,000	軽作業	2,500,000

(注) 目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賃金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

4 現在の生産活動に伴う経費及び計画期間を通じて達成する必要経費の見込額(1年間の経費を記載)

現在の経費		計画期間を通じて見込まれる経費	
146,873 円		300,000 円	
製造業務に係る経費		製造業務に係る経費	
(費目)	(費目の経費の内訳)	(費目)	(積算根拠)
農業委託業務	軍手他、消耗品	農業委託業務	軍手他、消耗品
BPO業務	消耗品	BPO業務	消耗品
軽作業	消耗品	軽作業	消耗品
販売業務に係る経費		販売業務に係る経費	
(費目)	(費目の経費の内訳)	(費目)	(積算根拠)

(※) 多額少額の生産活動を行う等の理由により、製造業務と販売業務に係る費用を区分することが困難な場合は、製造業務と販売業務を合わせて経費を記載することと。

5 生産活動に係る事業の収入－生産活動に伴う必要経費

現在の「収入－経費」	計画期間後の「収入－経費」
14,178,307 円	19,700,000 円

6 現在の利用者の総賃金額及び計画期間後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	計画期間後の支払い総賃金額
13,921,894 円	15,000,000 円
(積算根拠) 利用者13名 (2025年2月現在)	(積算根拠) 利用者15名

**事業所代表者署名欄      管理者   平井真次**

※「現在」はいずれも、指定基準192条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のものを記載すること。

※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類を添付させること。